

科目区分：人間科学科目

授業科目名	生体の機能（脳の働き）				学期	曜日	校時
英語名	Functional Physiology (Brain function)						
担当 教官名	徳永能治 調 漸 辻田高宏	単位数	2単位	必修 選択	前期	金曜日	校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法							
<p>3人の講師が講義を担当する。1 徳永は脳の構造と機能の画像化について述べる。最近の医療で使用される画像診断の利用法を説明し、主に脳の機能局在について考える。2 調は「なぜヒトは思ったように動けるのか」という疑問に応えるために中枢神経の解剖と生理を基礎にして体を動かしている仕組みを考える。その破綻した状態としての幾つかの「代表的な神経系の病気」をモチーフとして、脳機能の破綻がもたらす状態を通して脳機能を考える。3 辻田は脳の機能とヒトの精神活動の関係について述べる。精神疾患の説明も加え、精神疾患を単に「心の病」という概念でなく、脳機能の失調という立場から考えてみたい。</p>							
テ キ ス ト 、 教 材 等							
教科書は用いず、講義の一部にスライド、ビデオを供覧する。							
対象学生	成績評価の方法				教官研究室		
全学部	課題レポート、出席状況等を考慮して行う。						
授 業 計 画							
<p>徳永 講義日 4/11.4/18.4/25.5/2.5/9 計5回 第1回 オリエンテーション、脳の機能局在について 第2回 最近の画像診断機器と脳の機能について 第3回 最近の画像診断機器と脳の機能について 第4回 最近の診断機器の利用法について 第5回 脳の機能と脳死について</p> <p>調 講義日 5/16.5/23.5/30.6/6.計4回 第1回 錐体路1 -からだが動くための最低限の要素1- 第2回 錐体路2 -からだが動くための最低限の要素2- 第3回 錐体外路 -スムーズに動くための装置- 第4回 小脳と末梢神経 -正確に動くための装置、動きの指令を伝えるための装置-</p> <p>辻田 講義日 6/13.6/20.6/27.7/4.7/11.計5回 第1回 知覚 第2回 記憶 第3回 感情 第4回 無意識と創造性 第5回 現代社会と精神疾患</p> <p>(予習・復習に関する指示) 講義終了時に、課題に関するレポートの作成を指示する。</p>							